

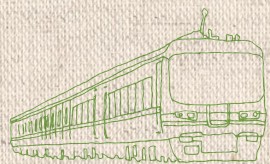


みんなで子どもを育てる! 笑顔あふれる「きりん食堂」

市の北部に位置する津田校区。豊川に囲まれた街で、新幹線などが通過するため撮影スポットとして全国の鉄道好きからも愛されています。津田校区の子どもや保護者を対象に食事を提供する、子ども食堂「きりん食堂」を運営する白井さん。

きりん食堂を立ち上げたきっかけや津田校区の魅力を紹介します。

地域で子育て 津田校区



Profile

白井 佐知子さん (53歳)

蒲郡市出身。結婚を機に津田校区へ。地域のバレーボールクラブを通して近所の人とつながりを深め、子ども食堂「きりん食堂」を立ち上げた。

「子育ては地域みんなで。受け入れてくれた津田校区に感謝!」

結婚と同時に津田校区へ。世話好きな性格から、知り合いや近所の子どもに、「ご飯食べていきん!」と声を掛け、みんなで料理を囲んで楽しく食事をしていました。もともとたくさんの子供たちに料理を思いっきり食べてもらいたい、今までお世話になった地域への恩返しをしたいと思い、安価で栄養のある食事を提供する「きりん食堂」

を立ち上げることを決意しました。「他市から引越して来た人が孤独にならないようにしたいと思っています。子育ては家族だけではなく、地域全体で行うことが大切。きりん食堂を通して、近所の人と人の支え合い、つながりができたらいいなと思います。」と語ってくれました。

きりん食堂では、寄付された食材を使った料理などを提供。



子ども大人も笑顔になるきりん食堂。



クラストコ対談
地域で子育て

津田 対談



「きりん食堂」のメンバー

白井さん 「きりん食堂」を立ち上げるにあたって、料理のことはもちろんですが、地域とのつながりや絆の大切さとか、メンバー全員でいろんな話をしましたね。

中原さん 私は小学校のPTA会長をしていて、地域の子どもたちのために何かできることはないかなと思っていてところに、きりん食堂の話があり、素晴らしい取り組みだなと思い参加しました。

中村さん 津田校区は世帯数が少なく、地域の人はほとんど知り合いだからこそ、みんなで助け合うことを大切にしている街だと感じます。

屋野さん そうそう。子ども同士のつながりも多いので、家族だけでなく近所の人も支え合いながら暮らしているのが津田校区らしいですね。田舎だけど、豊橋駅からも近くて交通の便がいいのもポイント!

伊藤さん 私は別の校区に住んでいるのですが、津田校区は瓜郷遺跡や豊川、電車など、いろんな景色が楽しめるのがいいなとうらやましく思います。

白井さん ここまでバリエーションに富んだ校区はない!と言うくらい、あらゆるものがこの校区に凝縮されていますね。休日になると遠方の方が電車や風景を撮りに訪れます。個人的には、下地駅も大好きで、ローカルな雰囲気に「津田らしくていいな」と感じます。



伊藤 佳子さん (60歳)

屋野 浩子さん (54歳)

中原 祐也さん (41歳)

中村 正子さん (50歳)

白井さん
イチオシ!



津田校区 おすすめスポット



下地駅周辺の絶景

昭和49年に建てられたJR下地駅の周辺には、壮大な豊川や新幹線、名鉄電車などを見ることが出来るスポットがあります。ローカルでレトロな駅舎も魅力です。

ドクターイエローも通る!



改札を通り抜けると、ホームとホームの間に椅子が並び、レトロな雰囲気を醸し出します。



下地駅近くを走る東海道新幹線。運が良いとドクターイエローを見ることができます。



豊橋駅へ向かう電車と山、豊川の絶景。撮り鉄にも人気の撮影スポットです。



下地駅を通過する名鉄電車。鉄橋を渡る名鉄電車の音が迫力満点です!

白井さんにとって「支える」とは?



他人でも声を掛け合うことが、支え合うことだと思います。この街にずっと住み続けるからこそ、子どもからお年寄りまで、年齢を問わずみんなで支え合うことができたらいいですね。